

正副議長 就任あいさつ



夢の持てる元氣な曾於市を目指して！

議長 大津 亮二



副議長

久長登良男

市民の皆様、日頃より私ども市議会の運営にご理解ご協力を頂き、心から感謝申し上げます。

さて、昨年11月に執行されました市議会議員の選挙におきまして、4名削減し22名の新進気鋭の議員が誕生したところで

その後12月議会において、議員の皆様のご推挙を頂き、議長のお職を仰せつかることになりました。議長に与えられた使命を誠心誠意遂行してまいりますのでよろしくお願致します。

私ども議員は曾於市4万2千人の市民の暮ら

しの安定や福祉の向上のために、「適正な予算措置なのか」、「市民のためになった事業だったのか」など、市民の立場に立った視点で議論を深め取り組んでいるところで

我が国は今、大変厳しい経済情勢の中、かつて経験のない激動の時代を迎えています。政府も日本経済不況の立て直しのため、緊急経済対策を打ち出されましたが、厳しい状況に変わりはなく本市への影響も少なからず出始めているところで

そのような中、曾於市

も誕生して5年目となり

ましたが、基幹産業である農業の振興はこれから大変大事であり、厳しい競争や産地間競争にも対応できる取り組みの推進や、農商工連携の取れた街づくりを進めることが大切と考えております。さらに将来を担う子どもたちに夢の持てるような教育振興の充実や、どこに住んでいても良かったと言えるような福祉社会を目指していかねばなりません。

財政も厳しい状況ではありますが、少ない予算の中で時代の流れに即応した運営が望まれます。

私ども市議会への期待感もさらに高まり、一層重責を担ってくださると感じているところで。今後とも皆様の負託に応えられるよう、夢の持てる元氣な曾於市を目指してさらに努力をしてまいります。

最後に、市民の皆様のご健康とご多幸、また曾於市の益々の発展をご祈念申し上げ、就任の挨拶といたします。

曾於市も合併して5年目となります。今回の選挙から曾於市全域を区域とする選挙となり、有権者の議会に対する意志反映が一段と促進できることになったのではと思っております。

議会運営につきまして、議会運営委員会の意見を尊重しながら、公正公平を旨とし、曾於市議

平成21年12月4日の本会議において、正副議長及び各常任委員会、並びに各常任委員長の選任が行われ、議員各位のあたにかいご推挙により、副議長の要職に就任させて頂くことになりました。

身に余る光栄であり、もとより浅学非才ではありますが、責任の重さを痛感致しております。

曾於市も合併して5年目となります。今回の選挙から曾於市全域を区域とする選挙となり、有権者の議会に対する意志反映が一段と促進できることになったのではと思っております。

議会運営につきまして、議会運営委員会の意見を尊重しながら、公正公平を旨とし、曾於市議

会が円滑に運営されるよう努力してまいります。私ども議員は、住民の意見や要望を真摯に受け止め、さらには声なき声をも拾い上げる努力を重ね、市民の負託に応えてまいります。

執行部に対しましては、一歩離れて二歩離れずで一定の距離を保ちながら、チェック機関としての機能を十分に発揮するとともに提言もどしどししてまいります。

最後に市民の皆様のご健勝と我が故郷曾於市の限らない発展をご祈念申し上げます、就任のあいさつとさせていただきます。

議会運営につきまして、議会運営委員会の意見を尊重しながら、公正公平を旨とし、曾於市議